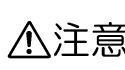
取扱説明書

DAYTONA corp.

S79043①/⑨

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

ホットグリップ ヘビーデューティー４Ｓｎ グリップエンド貫通タイプ	適応車種	商品ＮＯ.
	汎用 （ハンドル径 22.2mm用）	79043

■ご使用前に必ずご確認ください■

※取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。	
⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
高温注意	表記の注意を告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
水ぬれ禁止	表記の注意を告げるものです。		

⚠注意

禁止

- この商品は 12V 専用です。バッテリーレス車、及び 6V 車への取り付けはできません。
- スズキ原付スクーターにグリップの内径が細い車両があります。（アドレス 110/V100 等約 19mm）このような車両には取り付けできません。取り付け作業前にハンドル外径・スリーブ径を計測・確認してください。
- ヤマハ初期マジェスティ（4HC）には適合しません。車両の発電能力不足の為使用出来ません。その他の発電能力不足の車両も同様に使用できません。
- 作業を行う場合は、濡れた手での作業をしないでください。濡れた手で作業をした場合感電する可能性があり、たいへん危険です。

実施

- グリップ取り付けの際は、配線ミスによるショート防止のため、作業に入る前に必ずバッテリーのマイナス端子を外してショートしないようウエスなどで絶縁した上で作業してください。
- 頻繁にストップ&ゴーの繰り返しで短距離走行ではバッテリーへの充電が不十分です。電装部品の追加となり消費電力も多くなりますので、そのようなご使用状況の際は走行後充電するなどのバッテリーのメンテナンスを行ってください。
- EFI（インジェクション）車や、イモビライザー装着車、テールランプなどに LED ランプを使用している車両は電源の配線にご注意ください。

- EFI 車では、コンピューターで電力の制御をしている車両がありホットグリップに限らず電力供給に関して過電流があると電力カットするものがあります。電力制限のない配線を確認して接続してください。また、テールランプに LED を使用している車両や、イモビライザーなどの盗難防止機能付の車両などへの配線については特に注意してください。
- LED ランプなどは消費電力を抑えており配線の線径が細いものがあります。配線の異常過熱の原因となりますので絶対に配線しないでください。
- イモビライザー等の装着車は特にキーシリンダー周りへの配線にご注意ください。イモビライザーの誤作動やコンピューターの故障原因となります。
- ホットグリップ装着前に車両の特徴を把握してください。必要に応じて車両メーカーなどに問い合わせ・確認してください。
- 必ずホットグリップ装着前に、上記項目に関する車両の特徴をご確認ください。また、必要に応じて車両メーカー等への問い合わせをお願いします。
- 定期的にグリップの接着状態の点検を行ってください。ホットグリップの熱影響、接着剤の経年変化、脱脂不充分、汚れ落とし不充分等により、接着が不充分になりグリップが抜ける場合があります。グリップ抜け防止のため、必ずステンレスワイヤーのワイヤリングを行ってください。（ステンレスワイヤーは別売です。）
- **走行中に異常が発生した場合は、直ちに使用を中止して車両を安全な場所に停車させて異常箇所を必ず点検し、購入先や弊社にご連絡ください。**

実施

水ぬれ禁止

- セレクトスイッチは完全防水ではありません。洗車時にホース等で直接水を掛けないようにしてください。水圧で中に水が入る恐れがあります。

その他

- 純正スロットルスリーブに車両によってはスベリ留めのリブが立っているものがあります。スロットルスリーブ外径が約 25mm になるように削り落とすなどの作業をしてホットグリップを取り付けしてください。無理にグリップをねじ込んだりプラスチックハンマー等で叩いたりしてしまうとグリップ内部の配線を痛めてしまいます。
- ホットグリップのスイッチ操作はエンジン始動後に行ってください。エンジン停止時にホットグリップを使用しますとバッテリーの消耗が早まってしまいます（メインキーON の時だけ電力が供給されます）。　注）消費電力が大きい商品ですので暖気運転ではバッテリーを消費します。長時間の暖気運転時にはご注意ください。
- 長期使用等で性能が著しく低下したバッテリーの場合、商品を取り付けることによってバッテリー上がりを起こしたり、商品が正常に動作しない場合があります。
- ジェネレーター容量の小さい車両に商品を取り付けた場合、充電能力不足でバッテリートラブルを引き起こすことがあります。
- セレクトスイッチのＬＥＶＥＬ３、４は常時使用しないでください。バッテリートラブルや、やけどの恐れがありますので急速暖房用としてご使用ください。

高温注意

- 長時間の使用により低温やけどの恐れがあります。無意識のうちにやけどをする可能性があります。目安として３０分に１回程度電源スイッチをＯＦＦにするなどしてご使用ください。なお、グローブ着用時でも低温やけどの恐れがあります。ご注意ください。

本商品の特徴

- バーエンドが装着可能なグリップエンド貫通タイプのホットグリップです。
- 電源ＯＮ時に最大４分間の急速暖房を行なうクイックヒート機能搭載。
- ４段階セレクトスイッチでボタンを押すたびに温度ＬＥＶＥＬを切替可能。

不適合確認車両

- SUZUKI 製 原付一種／原付二種等のハンドルが細い（Φ19）車両
- ハーレーなどの１インチ（Φ25.4）ハンドル車
- マジェスティ初期型（４ＨＣ）（発電能力不足のためバッテリー充電が追いつかない）
- 純正グリップ長が極端に短い車両（115mm以下）

商品諸元

- 作動電圧:DC12V
- 電源 OFF 時の消費電流：約 0.05mA
- 抵抗値：片側単品の数値 5.0Ω±10%
- グリップ全長:125mm (左右とも)
- グリップ内径:右側・内径約 25.4mm
  左側・内径約 22.2mm
  外径約 34mm（左右）

消費電力

LEVEL 設定	消費電力	表示LED色
LEVEL1	約 21W	緑色
LEVEL2	約 31W	黄色
LEVEL3	約 43W	橙色
LEVEL4	約 55W	赤色
クイックヒート	約 55W	点滅

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	グリップヒーター左	内径 22.2mm	1	⑦	ワッシャー	M5	2
②	グリップヒーター右	内径 25.4mm	1	⑧	ラバーバンド	17×70mm	1
③	４段階セレクトスイッチ		1	⑨	結線コネクター		2
④	ｽｲｯﾁ固定用ﾌﾞﾗｹｯﾄ（上）		1	⑩	両面テープ	25x25mm	1
⑤	ｽｲｯﾁ固定用ﾌﾞﾗｹｯﾄ（下）		1	⑪	結束バンド	150mm	2
⑥	ブラケット用ボルト	M5	2	⑫	エンドキャップ	Φ22.2 用	2

取付方法

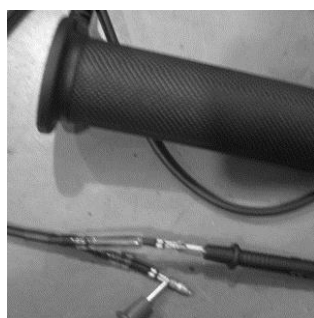
作業手順

1. 車体バッテリーのマイナス端子を取外し、ウエスや絶縁テープなどで絶縁しておきます。
2. 左右の純正グリップを取り外します。

   ゴム系接着剤などで接着されていますので、マイナスドライバーなどをグリップとハンドルとの隙間に入れ、パーツクリーナーなどを隙間に塗布して取り外してください。

3. ハンドルやスロットルスリーブなどに残った接着剤をきれいに除去してください。またスロットルスリーブの外径にすべり止めのリブがある場合は約外径 25mm ほどになるように削る加工をしてください。
4. ホットグリップの作動(暖まるか)確認をします。テスターをお持ちでしたら、導通の確認と、抵抗値の確認をしてください。正しい抵抗値は 5.0Ω±10%（片側）です。左右のグリップ・スイッチを接続しない状態で、グリップ単品の抵抗値を計測します。

   テスター等をお持ちでない場合は実際にホットグリップを暖めて確認します。12V のバッテリーのプラス・マイナスにホットグリップから出ている２本の端子をつなげて暖めます。左右のグリップはつなげないで単品でテストしてください。約１分ほどでテストは終了してください。暖まりを感じる程度でテストは終了です。それ以上の接続はバッテリーを消耗しますので控えてください。作業には十分ご注意ください。濡れた手や、近くに火気が無いことを確認して作業してください。

   テスターや、実際の暖めテストで異常がある場合は購入先や弊社にご連絡ください。商品を詳しく検査いたします。

抵抗値 5.0Ω±10%です。4.5Ωから 5.5Ωが許容範囲内です。

5. 左右のホットグリップの内側を脱脂します。ワックスオフなどの脱脂剤できれいにしてください。
   また、ハンドルやスロットルスリーブも脱脂してください。脱脂や汚れ落としが不充分ですと、グリップが外れる原因となり、大変危険です。

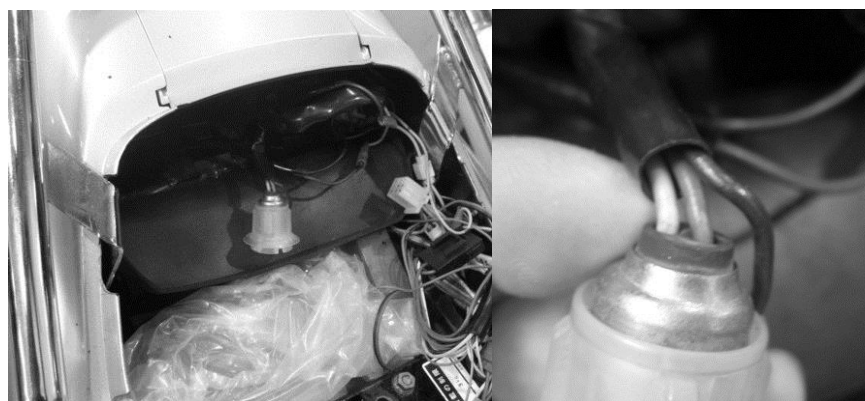
6. 電源の配線を確認します。

下記の事例は参考です。車両や仕様により電源は異なります。テスターなどで電圧の確認や、配線図・などで確認して安全・確実に配線してください。

●プラス側の電源　参考例(1)ﾌﾛﾝﾄﾌﾞﾚｰｷﾏｽﾀｰ　(2) ﾃｰﾙﾗﾝﾌﾟ　(3)車体ｱｸｾｻﾘｰ

(1) フロントブレーキマスターのストップランプセンサーを利用する。

(テスターを使用し、イグニションキーON の時だけ 12V 以上の電圧が出力されている配線を使用する。2 極の端子のうち片側は 12V が出力されていませんのでご注意ください。)接続には付属の結線コネクターなどを利用してください。

⑵テールランプの常時点灯(スモールランプ)の配線を利用する。

(テスターを使用し、イグニションキーON の時だけ 12V 以上の電圧が出力されている配線を利用する。ブレーキランプの線に接続をするとブレーキ作動時のみしか電気が流れませんのでご注意ください。接続には付属の結線コネクターなどを利用してください。

⑶ 車体アクセサリー電源を利用する。メインキーON の時だけ電源が入る線を利用する。(12V)

※以下の接続は絶対にお止めください。(プラス・マイナス電源共禁止です。)

1 ヘッドライト・ウインカー・ホーン・メーター照明への接続。

2 細い配線(被覆径で 2mm 以下の線)には不可。特に LED テールランプ装着車は注意。

3 プラス線をバッテリーへの直接接続。(マイナスのアース配線は可能)

4 コンピューターユニット・イモビライザー等への配線。

●マイスナ側の電源 参考例(1) ﾎﾞﾃﾞｨｰｱｰｽ (2)ﾊﾞｯﾃﾘｰのﾏｲﾅｽ端子

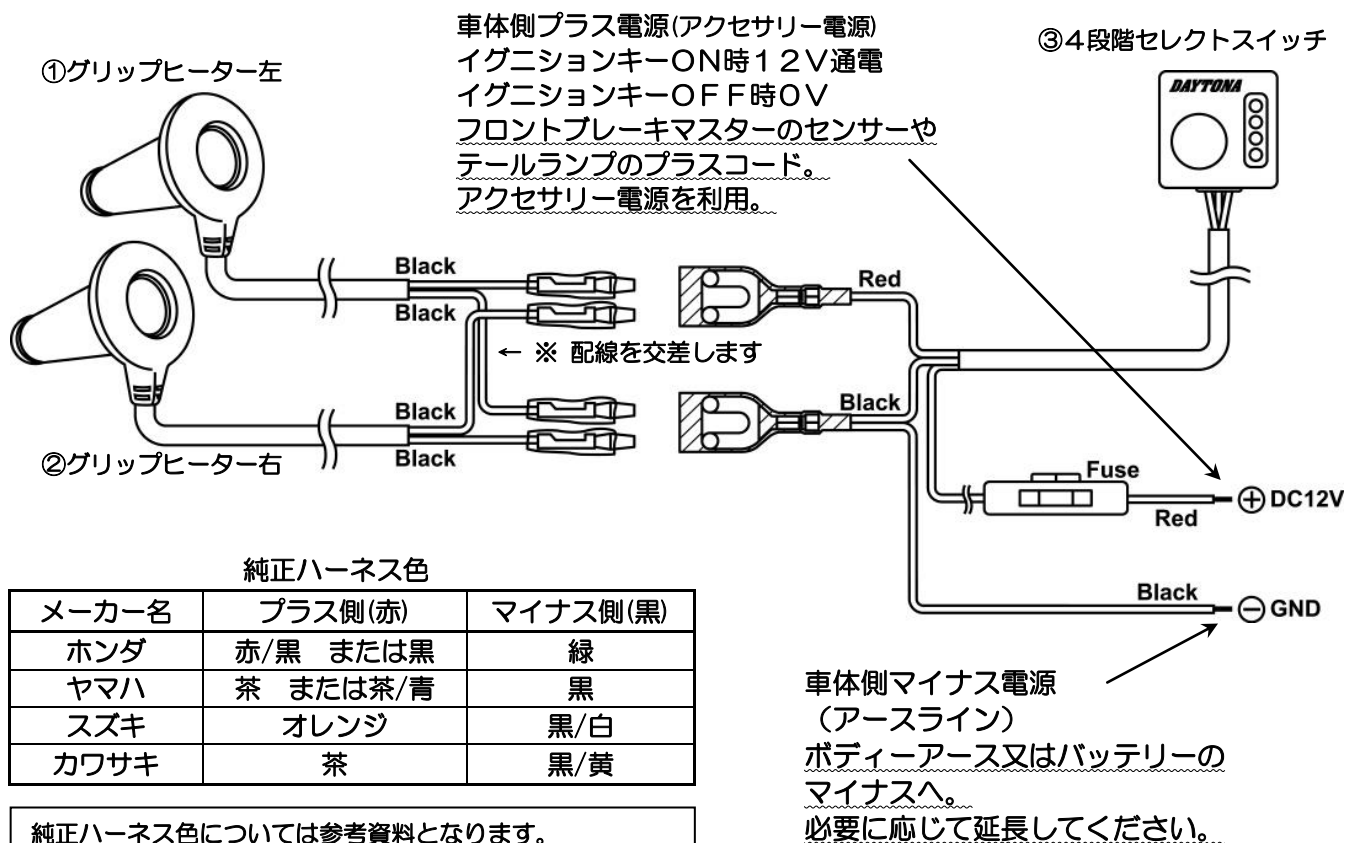
(1) ボディーアースを利用する。フレーム等に塗装がされている場合は塗装を削り確実にアースしてください。

(2) 塗装の削りが困難な場合はアース線を延長して直接バッテリーのマイナスに接続してください。

ホットグリップ配線図

純正ハーネス色

メーカー名	プラス側(赤)	マイナス側(黒)
ホンダ	赤/黒　または黒	緑
ヤマハ	茶　または茶/青	黒
スズキ	オレンジ	黒/白
カワサキ	茶	黒/黄

純正ハーネス色については参考資料となります。
車種によっては色が異なる場合があります。必ずオーナーズマニュアルやテスターでご確認ください。

7. 左右のグリップの取付け。

脱脂をしたグリップの内側に接着剤を塗ります。塗りすぎに注意。また、グリップの取付くハンドル側・スロットルスリーブ側にも接着剤を塗ります。

接着剤は熱の影響を受けないものを使用してください。デイトナ推奨接着剤(ホットグリップ専用接着剤)を強くお勧めいたします。ご使用方法については接着剤の取り扱い説明書にしたがってお取り扱いください。 (デイトナ推奨接着剤以外をご使用の場合、熱により接着剤がはがれてグリップが抜ける恐れがあります。)

ホットグリップ専用接着剤　　　　　品番：65862/￥900 (税抜)
ホットグリップ専用接着剤 (速乾)　品番：79280/￥1,000 (税抜)

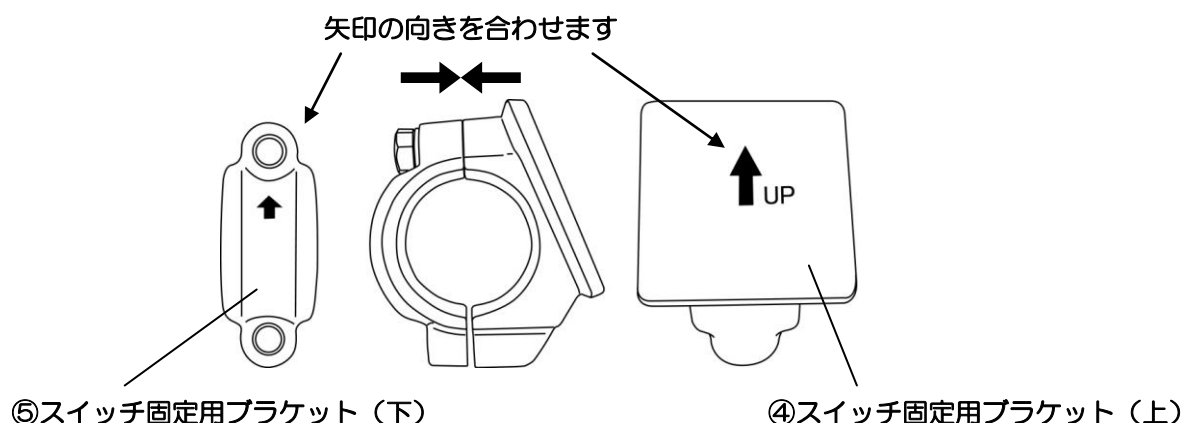
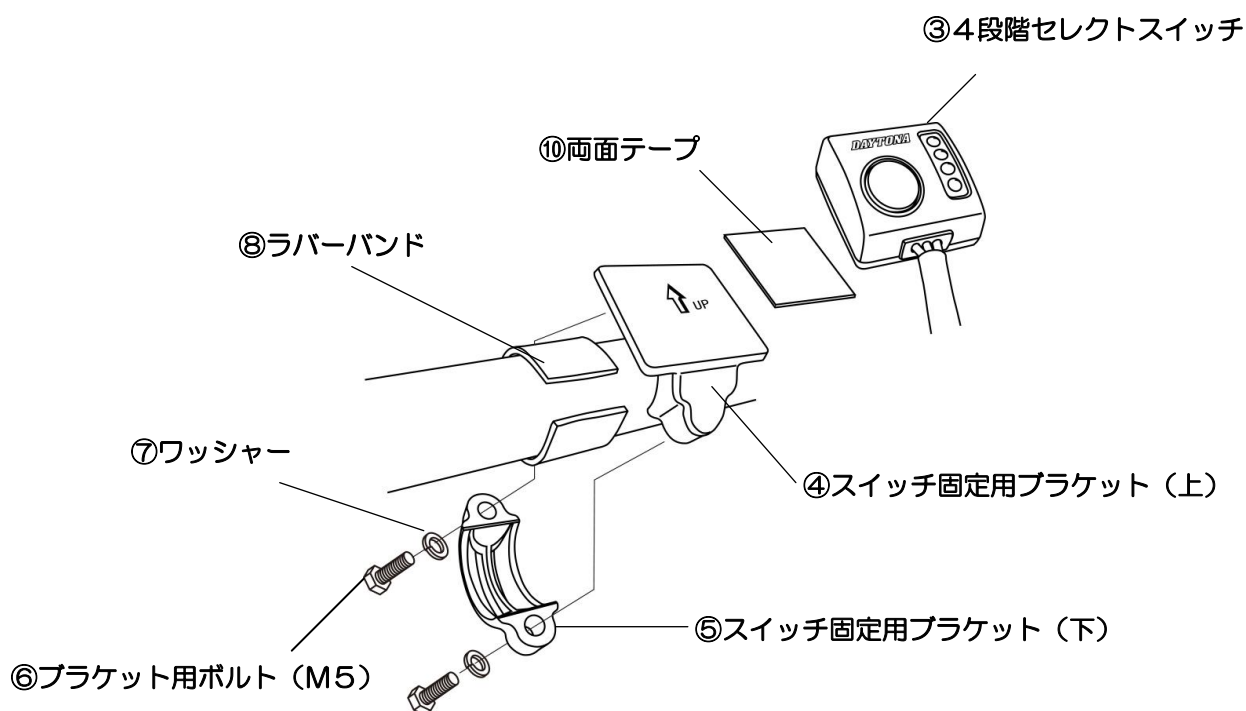
グリップを曲げないように丁寧に差し込みをしてください。はみ出した接着剤はウエス等でふき取ってください。
アクセル側グリップから出ている配線のとりまわしは数回アクセルをまわし、配線が突っ張らないように余裕をもたせてください。

※ 定期的にグリップの接着状態の点検を行ってください。ホットグリップの熱や、接着剤の経年変化、脱脂不充分、汚れ落とし不充分等により、短時間でグリップが抜ける場合があります。

8. ①グリップヒーター左、②グリップヒーター右、③４段階セレクトスイッチは、各キボシ端子を配線図通りに接続してください。車体マイナス電源コード、プラス電源コードは⑨結線コネクターなどを使用して接続してください。　※プラス電源線（DC12V）やマイナス電源線（アース）については必要に応じて延長が必要な場合があります。その際に使用する線は同じぐらいの太さの線を使用してください。（被覆径で 2mm以下の配線は絶対に使用しないでください。）

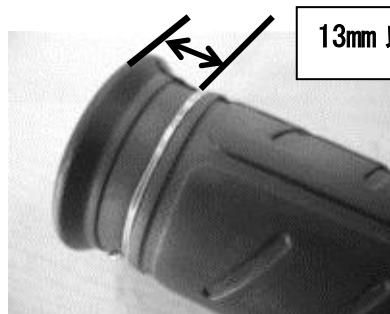
9. ⑪結束バンドで各配線コードをまとめます。

10. スイッチ固定用ブラケットをハンドルに固定します。

ハンドルバーのスイッチを固定したい場所に⑧ラバーバンドを巻き付けて、④⑤スイッチ固定用ブラケット（上下）の矢印の向きを合わせてハンドルに挟み、矢印の方から先に⑥ブラケット用ボルトと⑦ワッシャーで固定します。

スイッチの装着図

※セレクトスイッチは完全防水ではありません。洗車時にホース等で直接水を掛けないようにしてください。水圧で中に水が入る恐れがあります。

11. 左右共グリップエンドから 13mm 以内に別売のステンレスワイヤーでワイヤリングをしてください。ワイヤーを 2 周グリップエンドに巻きつけラジオペンチなどで締め付けます。 ワイヤーツイスターを使用する際はステンレスワイヤーの端で手を切ることのないように処理してください。

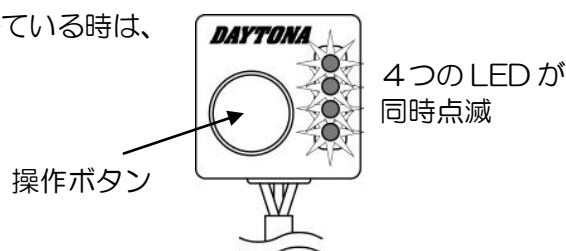
グリップエンドから 13mm 以上には発熱線があります。ワイヤリングが発熱線にかからないようにしてください。

13㎜ 以内

※ グリップ回り止めのため、ワイヤリングを行ってください。ワイヤリングを怠りますと、グリップが抜ける恐れがあります。(ステンレスワイヤーは別売品です)
※ ステンレスワイヤーの締め過ぎにご注意ください。発熱線を傷める場合があります。
※ グリップエンド端面より13mm以上のところには発熱線があります。この部分にはワイヤリングはできませんので、充分ご注意ください。

●インジケーターの表示について

〇4段階セレクトスイッチのインジケーター4灯が同時点滅している時は、
スイッチが何らかの異常を検出して動作を停止しています。
原因として以下の症状が考えられます。

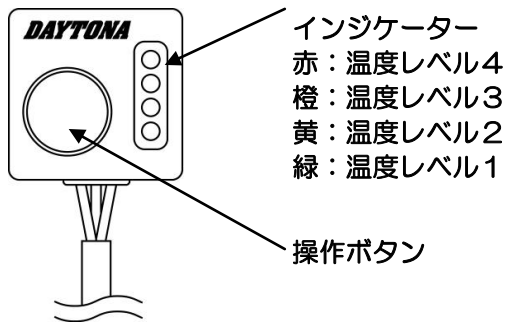
4つのLEDが同時点滅

操作ボタン

原因	解決
スイッチとグリップの結線方法が間違っている場合	取扱説明書 5 ページのホットグリップ配線図を確認してください。
グリップが断線している場合	グリップ単品の抵抗値を確認してください。 抵抗値は 5.0Ω±10%です。4.5Ωから 5.5Ωが許容範囲内です。

●ユニット使用上のご注意

〇この商品は、
H.I.Dシステム(装着車のみ)等の高電圧ユニットとの同時装着を考慮しておりますが、使用条件によって誤作動を起こす場合があります。車体のイグニションキーをONにした後、本商品の電源をONにしてからエンジンを始動、またはH.I.Dシステムの電源をONした場合には、高電圧ノイズによって本商品がリセットされる場合があります。ご使用の際には、エンジンを始動し、H.I.Dシステム点灯(装着車のみ)に本商品の電源をONにしてください。

〇ホットグリップヘビーデューティー4Sは、グリップ温度をパルス発信回路にて制御しています。
車体のメーターに使用している電源ラインから本商品の電源をとった場合、バッテリー電圧の低下や設定温度によっては、メーター照明がちらつく場合があります。
本商品が電流を多く使用するために起こる現象ですので商品の不具合ではございません。症状が発生した場合には、プラス側の電源を車体メーター配線以外の配線から取るよう変更してください。

操作方法

ホットグリップの電源を入れる

ホットグリップの電源をONにする。

ホットグリップの電源がＯＦＦのとき、操作ボタンを３秒間長押しする。

ホットグリップの電源をOFFにする。

ホットグリップの電源がＯＮのとき、操作ボタンを３秒間長押しする。または車両のイグニションキーをＯＦＦにする。

ホットグリップの電源をＯＮにすると、クイックヒート機能で４分間の急速暖房後、前回電源をＯＦＦにした時に設定されていた温度レベルになります。

ホットグリップの設定温度を切り替える

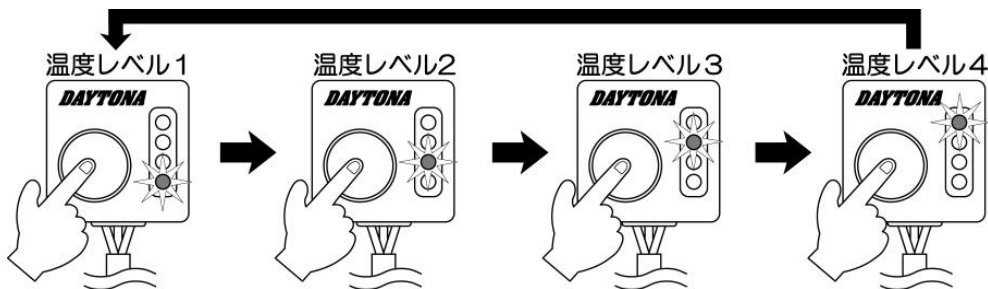
クイックヒート機能（急速暖房）

ホットグリップの電源をＯＮにした時、必ず動作します。最大４分間、自動で働きますが、キャンセルして通常暖房に戻したい場合にはクイックヒート中に操作ボタンを１回押します。
（インジケーター点滅　→　インジケーター点灯）

クイックヒート中は設定されている温度レベルのインジケーターが点滅します。
（例. 温度レベル２に設定してあった場合には黄色のインジケーターが点滅します。）
４分間のクイックヒートが終わると自動で設定レベルの通常暖房に切り替わります。
（インジケーター点滅　→　インジケーター点灯）

※加熱温度は温度レベル４と同等です。温度レベル４に設定してあった場合にはクイックヒート中であってもグリップ温度は温度レベル４以上には上がりません。

設定温度を切り替える

通常暖房中に操作ボタンを押すことで温度レベルが切り替わります。

通常暖房中は設定されている温度レベルのインジケーターが点灯します。

補修部品

商品名	品番	本体価格（税抜）
補修グリップ右側　貫通	77318	¥3,000
補修グリップ左側　貫通	77319	¥3,000
４段階セレクトスイッチ	79045	¥3,000

トラブルシューテング Q&A

Q グリップがあたたまらない。

A

① 各配線のキボシ・結線コネクターはしっかり接続されているか確認してください。

② ４段階セレクトスイッチから出ている黒色線(アース線)がしっかり接続されているか確認してください。特にボディーアースの場合は塗装を剥がしたところにしっかりアースがされているか確認してください。アース不良では発熱が弱まります。

③ バッテリーは弱っていないか。テスターなどで 12V 以上電圧が発生しているか確認をする。12V 以下となると発熱が弱まります。バッテリーを充電するか新品に交換してください。

④ テスターを利用してホットグリップ単品の抵抗値を計測します。グリップから出ている２本線のキボシをテスターにつなげて抵抗値を確認してください。
抵抗値が異常な場合はグリップの発熱線が断線している可能性があります。
購入先や弊社にご連絡ください。くわしく検査をいたします。
グリップの取り付け時にグリップがねじれ発熱線が断線する恐れがあります。グリップ取り付け前に抵抗値を計測して不具合の無い事を確認して取り付け作業をしてください。
取り付け時発生の不具合については保障対象外となります。ご注意ください。

Q 左側のグリップ温度が低く感じる。

A

① グリップの構造とハンドルの素材などの関係で左側はハンドルに直接グリップが取り付く為ハンドルに熱が逃げてしまう事があります。また、グリップのゴムの厚みも左側は厚いためアクセル側(右側)と比較をすると温度の差が出てしまう場合があります。ご了承ください。
汎用品の為車両によっては温度・暖まり具合が異なる場合があります。

Q グリップが熱くなりすぎる。

A

① ホットグリップの電源をＯＮにしたときには必ずクイックヒート機能（急速暖房機能）が働きます。
クイックヒート機能が熱いと感じる場合には操作ボタンを１回押してクイックヒート機能をキャンセルしてください。

② バイクの再始動時等、すでにグリップが加熱され熱を帯びている状態でホットグリップの電源をＯＮした場合、設定している温度レベル以上にグリップ温度が上昇する場合があります。この場合には、クイックヒート機能をキャンセルして温度レベルの設定を“１”にして温度が安定するまでしばらく待ってからご乗車ください。

Q グリップが長い。短くカットできますか。

A

① 左右のグリップ共グリップエンドから 13mm まではグリップをカットすることができます。13mm 以上はカットする事ができません。
また、グリップのねじれ防止の為にも付属のステンレスワイヤーを使用してワイヤリングをしてください。
※グリップエンドをカットしたグリップにはワイヤリングはできません。

東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで